学祖　北里柴三郎　博士

主要業績　破傷風菌の純粋培養に成功（1889）
破傷風・ジフテリア血清療法の確立（1890）
ペスト菌の発見（1894）

1853年　肥後国（現在の熊本県）阿蘇郡小国郷北里村に生まれる。
1883年　東京大学医学部卒業。
1886年　ドイツ・コッホ研究所へ留学。
1892年　帰国後、福沢諭吉翁の援助により、伝染病研究所を創立し所長となる。
1914年　伝染病研究所長を辞任し、**北里研究所を創立**して所長となる。
1917年　慶応義塾大学医学部が開設され、初代学部長となる。
1923年　日本医師会設立により、初代会長となる。
1931年　6月東京麻布において逝去。